

所属（世界遺産登録推進室）担当者（岩佐・岡）内線（262）

タイトル
「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産登録推進 PR カーに、電気自動車を導入。
概要（発表内容を簡単に記入してください）
地球環境にやさしい電気自動車（アイミーブ）に世界遺産PRのためのラッピングを行って、4月11日から実際に市内外を走行します。 世界遺産の啓発を行いながら、地球環境のことを考え、用務地に公用車として使用します。
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能）
導入のねらい 世界遺産登録活動は、宗像のよりよい文化や自然を末永く後世に残していくことが目的です。CO2の排出0のアイミーブのコンセプトは、世界遺産登録活動の趣旨に沿ったものであるとともに、ラッピングを施すことで世界遺産登録活動のPRに活用します。また、電気自動車導入によりCO2の削減を図る意識を普及させることも併せて幅広く呼びかけます。 電気自動車導入の背景 宗像市は20年3月に策定された宗像市環境基本計画に、自動車による二酸化炭素排出量を削減するため、エネルギー消費量の少ない自動車に乗り換える必要性や、公用車の買い替え時にクリーンエネルギー自動車の導入を検討すると明記されています。 本市の集中管理車両のうち、軽自動車を除く乗用車の買い替え時は、ハイブリッド車（シビック、エスティマ、プリウス）を導入し、二酸化炭素排出量の削減を図ってきましたが、軽自動車の買い換えは、低公害車の導入に留まっています。 このようなことから、電気自動車の導入を行うこととしました。
導入車種 三菱自動車工業株 i-MiEV（アイミーブ） 性能：フル充電から走行可能な距離 160km 車両本体価格（税抜き）3,790,477円 支払総額 4,083,200円 費用の内 一般社団法人次世代自動車振興センターが窓口である経済産業省のクリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金 114万円を活用。 （補助金額は次世代自動車振興センターが定めた基準限度額の229万円の2分1）
本件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先
世界遺産登録推進室 岩佐 岡 TEL 0940-36-1372